

前回（6月20日）の補足

. AIJについて

1. AIJの資金がODA資金に「追加的」と決まったのはいつか？

COP1における決定（ベルリンマンデート）のDecision5のAIJに関する部分

decides : (e)

That the financing of activities implemented jointly shall be additional to the financial obligations of Parties included in Annex to the Convention within the framework of the financial mechanism as well as to current official development assistance(ODA) flows ;

AIJの資金は、COP1の時点で既にODAに追加的である事が決定されていた。

2. 現在のAIJの数

エネルギーの効率に関するもの	5 8
新エネルギーに関するもの	4 9
放出されるガスに関するもの	7
燃料転換に関するもの	9
農業に関するもの	2
アフォレストーション	2
森林保護やリフォレストーションに関するもの	1 3
合計	1 4 0

UNFCCCホームページ文書を表にしたもの

. 吸収源について

大気蓄積、海洋吸収、森林吸収

- ・世界のCO₂の全排出量、年間71億トンのうち、約半分（33億トン）が大気中に蓄積（ちなみに約30%が海洋に吸収され、残りは森林などによって吸収される）
 - ・CO₂は大気中に蓄積されるが炭素循環によって一定に保たれる
- 陸上…光合成による吸収が1020億トン/年、呼吸及び分解による排出が1000億トン/年
海洋…化学的、生物的過程による吸収が920億トン/年、同排出が900億トン/年
- ・本来なら炭素循環は極めて安定しているが人為的影響により温暖化が進行